

合格力 UP 入試トライアル

ミニテスト体験

問題用紙

国 語

私 立 型 問 題

受験上の注意

- 試験時間は 25 分間です。
- 机の上には「筆記具」「消しゴム」以外のものを置いてはいけません。
- 指示があるまではこの問題用紙を開いてはいけません。
- 声を出して問題を読んではいけません。
- その他、監督の先生の指示に従ってください。

駒込中学校

【二】次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。(句読点や記号は一字と数えます。)

都市は多くのゴミを毎日、大量に排出しています。全国的一般廃棄物の総排出量は五二〇四万トン(二〇〇六年度)、東京都では五一三万トン(二〇〇七年度)ですから、全国も東京都もほぼ一人が一日あたり一キログラムものゴミを排出していることになります。ゴミは、世界中の都市にとってきわめて悩ましい問題です。

ゴミを国語辞典で調べると、「利用価値のないごみ、また汚いもの」と書かれています。私たちは多くのゴミを排出しますが、排出した後は「利用価値がなく」「汚い」ですから、すぐに処分してもらいたい、自分の目の前からなくしてしまいたいと考えます。ほとんどの人は、ゴミを出すすて役所に処分を頼みます。指定されたゴミの収集日に、しっかりとゴミを出せば、その日のうちにゴミは自分の視界から消え去っています。このことに、多くの人はあまり疑問を抱いていないのではないかと思います。

(a)、このように①ゴミがしっかりと規則的に収集されるということは、世界的に見ればそれほどあたりまえのことではありません。(b)、インドのラクナウという都市では、市役所がゴミをなかなか収集できないために、住民はしびれを切らして、お金を払ってゴミを業者に回収してもらったりしています。業者は、基本的には生ゴミのみを回収し、それをミミズがたくさんいるバケツの土の中に入れ、ミミズによってゴミを土に分解してもらっています。そうしてできた土は、肥料としてすぐれているので、農家に販売しています。

ブラジルでも貧しい人たちが住むスラム街(ファベラと呼びます)では、ゴミは回収されない場合が多いのです。多くのファベラはゴミ回収のトラックが通れないほど道が狭いということもありますが、ファベラで生活する人たちは不法に土地を占拠して住んでいるために、税金を支払っておらず、市役所としても公共サービスを提供してもいいものかと考えてしまうからです。

市役所の態度は、まさに正論であるかもしれませんが、しかし、ファベラから排出されるゴミが回収されないと、どういうことがおきるでしょうか。ゴミは汚臭を放つだけでなく、ネズミやハエなど、コレラ菌や赤痢菌、〇一五七などの病原菌を媒介する動物や虫なども引き寄せます。すると、ファベラを中心としてコレラや赤痢などの恐ろしい伝染病がまんえんし、被害はファベラの外にある市街地にまでも広がっていきます。

ファベラに住んでいる人たちもゴミがそばに放置されていることはいやなので、近くにある川などに捨てに行ったりします。すると、川がゴミによって汚染されます。ファベラが川の上流に位置している場合、下流に住んでいる人たちはたまったものではありません。とくに、下流で飲料水を取水していたりしたら、健康問題に直結します。市役所に強烈に抗議をするでしょう。

そのような問題が生じるため、②ファベラのゴミ問題は、都市全体のゴミ問題へとつながります。(c)、ファベラのゴミを市役所が回収できれば、都市全体の環境も改善されるわけですが、これがなかなかうまくできません。しかし、そのような問題に果敢に取り組んで解決した都市が、※クリチバです。クリチバでも、ちょっと前まではファベラのゴミは回収されずに放っておかれました。これは、ファベラの道が狭すぎて、ゴミ回収トラックが入れなかったからです。しかし、ファベラから出るゴミはクリチバ市内を流れる川に捨てられ、川は汚染され、市民の不満も高まる一方です。そこで、ファベラの人たちに「ゴミをトラックが入っていきるところまでもってきければ、そのゴミをバスのチケットと交換します」と提案したのです。

まさか、ゴミがバスチケットのような価値のあるものと交換できるとは思いませんでした。ファベラの住民でしたが、市役所は本気であることを理解すると、

それまでのゴミが「宝」のように見え、みんなゴミを収集しはじめたのです。いまではバスケットではなく食料との交換になっています。

バスケットや食料とゴミを交換することで、③市役所の出費は増えたかのように思えるかもしれませんが、ゴミ回収の仕事をしてもらったと解釈すれば、それは妥当な経費です。そして、なによりクリチバ市内の河川環境、そしてファベラの環境はそれ以降、格段に改善されたのです。

クリチバ市はゴミとバスケットや食料を交換すること以外でも、ゴミ問題に対して斬新な取り組みをしています。ゴミの埋立地が満杯になりそうになったときに、ゴミの分別事業に取り組むことにしました。この事業の責任者は、クリチバ市の環境局長だった日系一世の中村ひとしさんでした。

中村さんが、ゴミの分別をしようと市役所内の会議で提案したとき、ほとんどの同僚があきれたそうです。みんな「ブラジル人がゴミの分別などできるはずがないだろう」とAに言うのです。

日本で育ち、日本の大学院を出た中村さんは、日本人ができるゴミの分別をほんとうにブラジル人はできないのだろうか、と考えたそうです。中村さんの奥さんは、クリチバで小学校の先生をしています。「ブラジル人の子どもたちを見ると、日本人の子どもたちより純真で子どもらしい」と中村さんに言います。そして、ブラジル人の大人たちはともかく、子どもたちにはしっかりとゴミ分別の意義、大切さを説明すれば理解できるのではないだろうか、と考えたのです。

そこで、小学校の先生に、ゴミの分別教育のしかたを教えて、ゴミ分別のプロモーションを展開しました。中村さんだけでなく、当時の市長であったジャイメ・レルネルさんまでもが小学校を訪れ、「葉っぱ家族」というゴミの分別事業のマスコットとともに、児童の前で踊ったりしました。小学生には、「きみたちがゴミを分別すると、その分、森の木を伐らずにすむ。そうすると、きみたちが大好きな森の動物や鳥たちのすみかが守られるんだよ」と、その意義を伝えました。そして、まちなかの公園や広場には、ゴミの分別がどれだけされたか、そしてその結果、どれだけの木を伐らずにすんだかがわかるように、掲示板が設置されました。この試みは「ゴミではないゴミ」プログラムと命名されました。

同プログラムが開始されてから、およそ四万トンのリサイクルゴミが回収されました。これらのゴミを積み上げると、なんと二〇階建てのビル一二〇〇棟分になります。事業を開始した一九九〇年には五〇〇〇トン回収していたリサイクルゴミは、一〇年後にはその三倍の一万五〇〇〇トンまで回収できるようになったのです。

④このプログラムのすばらしいところは、子どもはいつか大人になるということです。ゴミの分別の意義を知った子どもは、大人になってもその意義を忘れないでしょう。そうすると、それまでゴミの分別を知らずに大人になってしまった人たちとはちがって、より環境を意識した、ゴミ問題を主体的に考える大人になるでしょう。そして、これを数十年間、継続させていけば、クリチバ市民はほぼ全員がゴミ問題をしっかりと理解し、ゴミの分別をする市民ばかりになると思います。

クリチバ：ブラジル南部にある都市。

示唆：それとなく教え、ほのめかすこと。

（設問の都合上、一部本文を改めました）
『若者のためのまちづくり』 服部 圭郎

問一 (a) (b) (c) にあてはまることばとして最も適切なものを、次の中から選んで記号で答えなさい。(ただし、同じ記号は二度以上使えませんが。)

ア なぜなら イ したがって ウ ところで エ たとえば オ ただし

問二 線①「ゴミがしっかりと規則的に収集されるということは、世界的に見ればそれほどあたりまえのことではありません」とありますが、ブラジルの「ファベラ」でゴミが収集されないのはなぜですか。その理由を説明した次の文の空らんにあてはまることばを、指定された字数で本文中からぬき出して答えなさい。

◆ 多くのファベラが (① 二十字) というところ、ファベラに住む多くの人が (② 七字) いないため、市役所が (③ 六字) としてゴミを回収してもよいと考えてしまうから。

問三 線②「ファベラのゴミ問題は、都市全体のゴミ問題へとつながります」とありますが、それはなぜですか。その理由として最も適切なものを、次の中から選んで記号で答えなさい。

ア ファベラから出るゴミがあふれて、ファベラの外の市街地までもゴミで汚染されることになるから。

イ ファベラから出たゴミはファベラの中で処理することができず、都市で処理されることになるから。

ウ ファベラのゴミ問題は、ファベラの外の市街地に住む人たちの健康問題にもつながっているから。

エ ファベラには貧しい人たちが住んでいるので、社会問題として都市に住む人たちも考えるべきだから。

問四 線③「市役所の出費は増えたかのように思えるかもしれませんが、ゴミ回収の仕事をしてもらったと解釈すれば、それは妥当な額です」とありますが、クリチバ市が出費を増やしてもゴミを回収しようとするのはなぜですか。本文中のことはを用いて説明しなさい。

問五 A にあてはまる「多くの人が口をそろえて同じことを言うこと」という意味の四字熟語を次の中から選んで記号で答えなさい。

ア 単刀直入 イ 異口同音 ウ 公明正大 エ 一心不乱

問六 線④「このプログラムのすばらしいところは、子どもはいつか大人になるといことです」とありますが、そのことを説明したものとして最も適切なものを、次の中から選んで記号で答えなさい。

ア 子どもはいずれ成長し、まちの重要な役職につくことでゴミ問題への取り組みが社会に根付きやすいということ。

イ 子どもはいずれ成長し、たとえほかのまちに引越したとしてもゴミ問題への取り組みは続けていくということ。

ウ 子どもはいずれ成長し、ゴミを不法に捨てる人たちをきびしく取り締まることができるようになるということ。

エ 子どもはいずれ成長し、ゴミ問題などを自分から考える大人になり、ゴミの分別が当たり前になるといこと。

問七 本文中には次の一文がぬけています。どこに入るのが適切ですか。その直前の五字をぬき出して答えなさい。

◆ 中村さんも、ブラジル人の子どもたちは奥さんの指摘どおりだと思ったそうです。

【一】								
問七	問六	問五	問四	問三	問二		問一	
					ï	i	a	
								b
								c
						iii		

解答らん

整理番号
氏名

得点